

# 平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

## 1 事業の成果

ザンビア共和国及びカンボジアにて、地球規模の課題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し、事業を行った。

ザンビア共和国では、これまで行ってきた農村部保健医療改善事業が終了し、昨年秋から新規案件事業の立ち上げに取り組んできた。今年度に入り成果が現れ、大きな前進に結びついた。

この10年程は、農村部における事業を行ってきたが、近年、ザンビアでも経済発展が著しく、医療に対する住民のニーズも変化してきた。このため、ザンビア大学教育病院（UTH）では、心臓外科手術に対しての技術移転を望む声があり、これに応えるかたちで、新規案件「心臓血管外科チーム養成プログラム」が本格的に動きはじめた。この事業は、ザンビア人のチームによる心臓手術を可能にするための技術移転を行うもので、現地病院関係者の期待度が高く、非常に協力的で、9月から本格的な研修事業が開始され、11月には、ザンビア初となるザンビア人による心臓手術が成功し、現地メディアにも大きく取り上げられた。また、2月には、心臓を止めて行う手術にも着手し成功した。

カンボジア国においては、公益社団法人セカンドハンドとの協働で実施してきた救急医療支援活動が終了したが、8月に新規案件調査を行い、バタンバン州での新規案件を模索している。今後は、高松市と連携してJICAの地域提案型事業に応募する予定である。

国内事業に関しては、地球人カレッジの実施や季刊誌の定期的な発行、イベントへの出展を行ったほか、徳島大学での国際協力論の運営支援をJICA四国より受託した。また、徳島大学医学部の学生が中心となり、将来、国際医療協力を目指す学生の勉強会に積極的にに関わり、学生らの支援を行った。

事務局の運営においては、これまでの収入の柱であったJICA草の根パートナー事業の終了による収入の減少により、専従職員の雇用が困難となった。そのため、ボランティア職員による事業運営となったことで、国内の積極的な事業展開ができていないのが現状である。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	<b>ザンビア医療協力事業</b> ・心臓血管外科チーム養成プログラム ・ザンビア人医師の研修 ・心臓手術に必要な機材の購入支援等	年3回	ルサカ市	7人	ザンビア共和国 住民一般400人	10,869
	<b>モンボシ農村保健医療事業</b> ・モンボシ診療運営支援	月1回	ルサカ市	1人	ルサカ市 ンゴンベ地区 住民一般2万人	1,537
	<b>カンボジア医療協力事業</b> ・医療従事者救急対応力向上事業フォローアップ ・救急隊員に対する研修フォローアップ ・住民啓発事業フォローアップ	通年	スヴァイリエン州	1人	スヴァイリエン州 48万人	754

会報及び出版物の発行	<b>広報活動</b> ・会報及び出版物の発行 ・ホームページなど	年4回	事務局	2人	会員・一般 500人	47
国内での開発教育に関する事業	地球人育成事業 ・地球人カレッジ ・青少年人材育成事業（合宿受け入れ、ユース）	3回	事務局	3人	地域・一般60人 (1回当たり20人程度)	206
		2回	事務局	3人	全国 (1回当たり10人程度)	0
	JICA国内委託事業 ・国際協力論	10回	事務局	3人	徳島大学学生 (1回当たり20人程度)	379
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、相談、助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動，他の市民活動を行う団体への相談，助言	随時	事務局等	4人	他の市民活動を行う団体（約20団体）	0
	事務局運営（管理費）	通年	事務局	3人	全事業対象者	1,248

(2) その他の事業

実施した事業はありません。